

統計・統計調査をテーマとした学生インターンシップについて ～若者世代における公的統計調査の理解及び統計データ利活用の推進～

岐阜県

統計調査に関する教育の
協働推進にかかる覚書

岐阜大学 地域協学センター

目的

将来の良好な統計調査環境の整備推進

- ・若年層の公的統計調査に関する理解促進、協力意識の醸成
- ・公的統計調査のよき理解者・協力者となる人材の育成
- ・地域の「データサイエンス」力の高い人材の育成

※ 講座に参加する学生に統計調査員候補者の登録を促すなど、若年層の統計調査員確保も視野

講義・演習の実施

【内 容】（5日間 計22.5時間）

講義：統計データから見た岐阜県について

：統計調査の基礎

：統計調査の現状と課題

演習：統計調査の課題解決策の検討
（ワークショップ形式）

：e-Statを活用した公的統計データの入手
方法、分析及グラフ作成の学習

：実際の県内市町村の公的統計データを使用
した課題の分析及び解決策の提案

※ ネットワーク大学コンソーシアムを通じて他大学の学生も受講可能

目的

- キャリア教育の充実
- 大学の社会貢献
- 学生の社会人意識の醸成、向上

内容

- 地域を知り、地域の課題を見つけ、解決に向けて行動する人材「次世代地域リーダー」の育成・輩出
- 地域との交流や体験を通じて、社会に出てから役立つ実践力の習得
- 本事業はCOC+次世代地域リーダー育成プログラムの1科目（地域協働型インターンシップ）として実施

インターンシップ
参加学生の派遣

受講申し込み

学生

メリット

- 一社会人としての自覚向上
- 現役職員から公的統計に関する知識や、公務員業務等に関する情報を得られる機会の獲得
- （統計調査に従事した場合）公務員としての経験